

各 位

上場会社名	株式会社 アイ・テック
代表者	代表取締役社長 大畑 榮一
(コード番号)	9964)
問合せ先責任者	取締役管理本部長兼経理部長 伏見 好史
(TEL	054-337-2001)

## 業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月10日に公表した業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,350	410	455	366	30.57
今回修正予想(B)	30,750	△27	△309	△241	△20.13
増減額(B-A)	3,400	△437	△764	△607	
増減率(%)	12.4	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	24,616	△414	△843	△733	△61.24

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	56,500	910	1,000	825	68.90
今回修正予想(B)	58,350	413	106	211	17.62
増減額(B-A)	1,850	△497	△894	△614	
増減率(%)	3.3	△54.6	△89.4	△74.4	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	54,184	△948	△496	△640	△53.53

平成25年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,350	380	316	26.39
今回修正予想(B)	30,650	△224	△154	△12.86
増減額(B-A)	3,300	△604	△470	
増減率(%)	12.1	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	25,095	△442	△328	△27.42

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	56,500	850	725	60.55
今回修正予想(B)	58,250	276	354	29.57
増減額(B-A)	1,750	△574	△371	
増減率(%)	3.1	△67.5	△51.2	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	53,488	△54	△513	△42.85

## 修正の理由

### 1. 個別業績予想の修正理由

#### (1) 平成25年3月期第2四半期(累計)個別業績予想

当社グループが所属する当鉄鋼流通加工業界におきましては、国内鋼材市況は3月頃ようやく底を打ち、反転の兆しが見えたものの、6月には鋼材需要の低迷等を理由に、国内鉄鋼メーカーは大幅な値下げを発表し、市況は再び下落傾向となり、引き続き厳しい状況が続いております。

売上高につきましては、鋼材販売加工事業は大型物件の材料受注等があり増加した事に加え、工事請負事業も大型物件の工事進捗による売上から前回予想を上回る見込みであります。

収益面におきましては、国内鋼材市況の下落から収益率は低下しており、当初想定した収益の確保は厳しいものとなり、鉄骨請負事業につきましても鉄骨加工単価は低迷しており引き続き厳しい状況となっております。

また、輸入鋼材の決済資金として米ドル/円の通貨オプション契約等を行っており、為替相場は再び円高傾向となった事から、これらの契約に掛かる時価評価としてデリバティブ評価損222百万円及び為替差損120百万円が発生しております。これらの理由に基づき、第2四半期個別累計期間の業績予想を修正いたします。

#### (2) 平成25年3月期通期個別業績予想

通期の業績予想につきましては、スクラップ価格は下落しているものの、国内大手鉄鋼メーカーは販売価格重視の方向を打ち出しており、国内鋼材市況は下げ止まりつつあります。このような状況の中、在庫の入れ替えが進み、収益率は徐々に回復しつつあります。当社グループといたしましては、積極的な販売活動に加え、一層の原価の低減や経費削減に努めて参りますが、第2四半期累計期間の修正に加え今後の状況を勘案して通期業績予想の見直しを行うものであります。

また、営業外損益に計上される、デリバティブ評価損益及び為替差損益につきましては、今後の為替動向に大きく左右され、予想が困難のため、今後の発生が見込まれるものは、通期業績予想に織り込んでおりませんので、為替相場が大きく変動した場合には業績に影響が生じる可能性があります。

### 2. 連結業績予想の修正理由

「1. 個別業績予想の修正理由」と同様の理由に加え、株式会社アイ・テックストラクチャーを連結範囲に追加した事によるものであります。

## ● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成24年5月10日発表)	—	0.00	—	20.00	20.00
今回修正予想	—	0.00	—	15.00	15.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成24年3月期)	—	0.00	—	20.00	20.00

## 修正の理由

当社は、株主に対し業績に応じた利益還元を行うことを経営の最重要目標のひとつとして位置づけ、企業体質の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実と合わせ勘案し、配当を行うことを基本方針としております。

当期の配当につきましては、当初1株当たり20円00銭としておりましたが、通期業績予想を下方修正することに伴い、1株当たり15円00銭に修正いたします。株主の皆様におかれましては何卒ご理解を賜りますようお願いいたします。

(注)上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上